

第 108 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和元年 12 月 17 日 (火)
- 2 開催場所 割烹さわ
- 3 出席について
 - 委員総数 13 人
 - 出席委員数 12 人
 - 出席委員の氏名
 - 相京恵 / 飯島哲也 / 今井陽子
 - 小澤健一 / 風間隆之 / 風間まり子
 - 佐藤正幸 / 高井俊一郎 / 竹中隆
 - 渡木秀徳 / 吉井照雄 / 吉村巳之
 - 欠席委員の氏名
 - 清水一希
 - ラジオ高崎 4 人
 - 社長代行 小林正明
 - 放送局長 田野内明美
 - 放送部長 吉良武夫
 - 企画課長 関口高史
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
 - 高崎再発見 高崎歴史散歩道について
 - 番組全般について
 - その他
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
 - ・ラジオ高崎放送 令和 2 年 1 月 12 日(日) 午前 6 時 55 分～6 時 59 分(予定)
- 7 その他の参考事項

(別紙) 議事の概要

- ・ 社長代行小林正明より挨拶。
- ・ 放送局長田野内明美より特別番組の実施報告と放送予定の紹介。
 - 10/5(土) 11:00～11:54 高崎音楽祭スペシャルトーク①「PERSONZ」
 - 10/12(土) 11:15～11:44 高崎音楽祭スペシャルトーク②「山中千尋」
 - 10/27(日) 12:00～12:40 高崎 OPA 写真展特別番組「FIND OUT」
 - 11/9(土) 22:00～25:00 特別番組 第30回高崎音楽祭「PERSONZ LIVE」
 - 11/20(水)～24日(日)15:00～16:00 「ラジタカシックス」銀座から公開生放送
 - 12/16(月)～1/18(土) 公開収録 in GINZA SIX
 - 12/21(土)・28(土) 9:00～10:54 ラジオ高崎新聞で振り返る今年の高崎
 - 1/1(水祝) 12:00～14:00 高崎だるま市2020 in smile
 - 1/1(水祝) 11:00～11:30 新春鼎談2020
 - 1/3(金) 15:00～15:54 高崎 OPA 新春寄席 林家つる子・立川がじら二人会
 - 1/4(土) 9:30～10:00 新春鼎談2020(再)
 - 1/5(日) 12:00～12:30 新春鼎談2020(再)
- ・ 事務局より審議対象番組「高崎再発見 高崎歴史散歩」の説明。

高崎市内の史跡や古碑、関連施設などを訪ね、それらにまつわる逸話やエピソードをたどりながら高崎の歴史に迫る情報番組。町のすみずみに眠る歴史をひも解き、人々の営みを通して過去と現在をつないでゆく。高崎市の提供。

本放送：毎週水曜日午前 9:30～9:44

再放送：毎週日曜日午前 7:40～7:54

出演：ナビゲーター 根岸良司氏

多胡碑記念館 和田健一氏

フレームアナウンス 田野内明美、篠原悠介

制作担当：堀口夏希 ※概ね月1回、2時間程度の収録。

試聴素材：10月30日(水)本放送 第644回「多胡碑の記憶～建郡と正倉跡～」

- ・ OA素材の試聴

- ・番組説明と OA 素材試聴のあと、他の既存番組等も含めて広く意見を求めた。

委員各位の意見

「高崎再発見 高崎歴史散歩道」について

- 番組としてまとまりがある。ラジオ高崎開局当初から携わっている根岸さんの話はよく分かる。根岸さんが元気なうちは続けて欲しい。
- 高崎の歴史について来訪者に質問されることがある。歴史に詳しくないので、知識が増えてありがたい。14分という番組の長さも、歴史を学ぶという意味ではちょうどよい。
- 番組が始まった頃からずっと聞いているが、高崎の様々な場所をたどって紹介する内容がとてもよく続けて欲しい。地元でも知らないことが多く、改めて歴史を知ることと郷土愛が醸成されると思う。朝・昼・晩と再放送の回数を増やすのもよい。
- 歴史番組は日常のニュースとは違い普遍的、内容的に積み重なっていけばひとつの財産になる。長寿番組ということもあり、是非、HP や書籍などでのアーカイブを検討してもらいたい。文書でまとめた場合には高崎市の図書館などに寄贈するという方法もある。
- 奈良時代の群馬はすごく発展していた。風水などで安全なところを探したということもあったらしい。歴史が好きだが、世界的にも注目されている上野三碑を詳しく紹介する番組は聞きごたえがある。
- 50年前と現在とでは、多くの高崎市民が入れ替わっていると思う。古代の歴史を紹介するのもよいが、来年は高崎市制 120 年ということもあり発足当初の高崎がどんな様子だったのかを伝えるのも意義深い。
- 身近な土地の歴史を紹介する番組は、地元への関心を持ってもらい理解を深めてもらうという観点でとてもよい。長寿番組なので同じ場所を取材することもあると思うが、その都度切り口を変えた紹介をすればさらなる継続も可能だし、是非工夫をして続けてもらいたい。

- パーソナリティーの根岸さんは高崎地域の歴史に詳しい人物である。多胡碑記念館学芸員の和田さんは専門家としての話をしてくれるのでよく分かるが、根岸さんの歴史観や地域についての考え方をもう少し聞きたい気もする。根岸さんがどういう人物かを紹介する機会があってもよいと思う。
- 高崎市の様々な場所で取材をしているので、そのときの写真や動画を見られるようになると番組で紹介した内容の理解が深まると思う。番組を通して、高崎市民のつながりが広がることを期待する。

(事務局より)

高崎歴史散歩道は長寿番組であり、名物企画でもあるのでこれかも取材放送や番組制作放送を工夫して続けていきたい。高崎街中にも歴史的なスポットは多く、例えば通町の大信寺は自刃した徳川忠長の墓があり、その顛末を改めて紹介するような企画も考えていきたい。江戸末期・明治・大正・昭和の高崎の歴史を振り返るとより地域が身近に感じられるということもある。ホームページ等でのアーカイブや、SNS等での画像の紹介については、技術的な部分も含めて早急に検討する。

番組全体について

- 地域情報の発信を積極的にしているのがよく分かる。ただ、高崎の情報が多すぎると感じることもある。周辺市町村の情報や全国的に話題になっている事柄をバランスよく放送にのせると、チャンネルを変えられてしまうことが少なくなるのではないかと。県内の他のコミュニティ FM 局とローカルニュースを交換して紹介するのもよい。
- 特別番組で写真展企画の紹介があったが、2次元的な素材をラジオで取り上げるのは貴重な機会だった。これからもラジオという媒体の枠を超えるような発想の番組作りに取り組んでもらいたい。
- 台風 19 号接近のときには、ずっとラジオ高崎を聞いていた。いざというときの気象情報・地域情報の発信は非常に心強く、頼りにしたい。地域災害関係情報の放送はラジオ高崎の使命でもあると思うので、多くの人に日頃から習慣的に聞いてもらえるような活動や放送作りに期待する。

以上